再改定版｢放射線副読本｣撤回署名ニュース　　　　　2020年5月1日

稲岡美奈子　minako-i@estate.ocn.ne.jp　072－336－7201

みなさま

　それぞれの分野、地域で市民活動の方法を探っておられることでしょう。新型コロナ緊急事態宣言が1ヶ月延ばされることになりました。感染者数を見ればやむを得ぬことと思われます。活動の制約はまだ長く続きそうです。

　その中でも、頑張っているニュースを2つお届けします。

1、静岡市小笠原さんから、静岡市と浜松市に文科省調査の情報公開を要求した結果のお知らせです。

２０１８年度末に放射線副読本が配布され、２０１９年度末に「放射線教育の実施状況調査」が実施され、先日調査結果が公表されました。

文科省から公表された結果は全国集計のみでしたので、静岡市と浜松市と静岡県に調査結果を情報公開請求し、各地域の集計結果（Q２−６）を比較してみました。

比較したのは【Q２−６　放射線副読本の内容や構成等について改善・充実すべき点はありますか。】

＊静岡市は他の地域に比べ、「無回答」の比率が高かったです。この調査中に、静岡市の調査対象学校（２２校）のみには、放射線副読本の問題点をメールしましたので、その影響があったのかも知れません。

＊改善すべき点がある「はい」と返答した内、「改善点等のコメント欄」では、「小学生・中学生には難しい」や「もっと平和利用について記載した方がいい」等が多かったです。

＊放射線副読本の内容についての問題指摘コメントは、静岡県内107校中3校のみでした。（静岡市2校、富士宮市1校）　問題指摘コメント例：「土壌汚染について記載があればより理解が進むと思う。」

＊文科省は、今後この放射線副読本を積極的に活用すると述べています。

この放射線副読本は福島原発事故の被害が意図的に隠されており、この様な偏った放射線教育が実施されない様に、今後も声を挙げていく必要があるかと思います。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| Q2-6集計結果 | ＜全国＞４，２９０校（静岡市含む） | ＜静岡市＞２２校 | 〈浜松市〉15校（1校黒塗り） | 〈静岡県〉71校（静岡市・浜松市除く） |
| 「はい」 | 7％ | 9％ | 14％ | 13％ |
| 「いいえ」 | 87％ | 59％ | 86％ | 83％ |
| 『無回答』 | 6％ | 32％ | 0％ | 4％ |

＊各地域でも、「放射線教育の実施状況調査」結果の情報公開請求を行い、各自治体の学校がどれだけ放射線教育に問題意識を持っているのか、まずは確認してみてはいかがでしょうか？

小笠原学20200429

2，岐阜市議会（3月議会）で「『放射線副読本』を配布しない」請願が審議されました。

　請願は残念ながら、本会議で38人中8人の賛成で否決されました。

　請願は「さよなら原発・ぎふ」から出され、紹介議員は8人でした。無所属クラブの高橋和江議員が主旨説明を行いました。

高橋議員から報告いただきました。今後も、運動を続けるということです。

　全国でたくさんの団体、個人が放射線副読本を取り上げて、粘り強く活動されています。連絡を取り合って頑張りたいと思います。